

## 2 地域別の指標と特徴

伊豆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流客数は3,946万2千人、前年度比100.0%、シェアは28.7%。</li> <li>・宿泊客数は1,075万8千人、前年度比90.9%、シェアは62.4%。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに調査対象となった施設により三島市は大きく増加したが、ほとんどの市町は景気低迷、天候、地震の影響で大きく減少した。</li> <li>・宿泊客数は、年間を通して前年度を下回り、特に秋以降の落ち込みが大きかった。河津町や函南町などを除き、多くの市町で減少がみられ、地域全体の減少数は100万人以上になった。特にシェアの大きい伊東市、下田市、伊豆市、東伊豆町は減少数も大きかった。景気低迷や地震の他に、高速道路料金のETC休日特別割引制度の影響を原因に挙げる声も聞かれた。伊豆地域の宿泊客の半数以上を占める関東地方居住者が旅行先を高速道路に沿って遠方に伸ばしたものとみられる。</li> </ul>
富士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流客数は3,136万2千人、前年度比101.3%、シェアは22.8%。</li> <li>・宿泊客数は137万3千人、前年度比89.3%、シェアは8.0%。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士川楽座が好調であった富士市は大きく増加したが、富士登山に集計方法の変更があった富士宮市、スポーツ観戦が減少した小山町は減少した。</li> <li>・宿泊客数は、富士市は微増であったが、御殿場市、裾野市、小山町は大きく減少した。</li> </ul>
駿河	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流客数は2,539万2千人、前年度比100.9%、シェアは18.4%</li> <li>・宿泊客数は145万5千人、前年度比98.0%、シェアは8.4%。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大道芸ワールドカップ」、「静岡まつり」等大きく減少したものがあつたが、「しぞーかおでんフェア」などの新規の大型イベントもあり、観光レクリエーション客数は微増した。</li> <li>・宿泊客数は、10～12月期までは前年を下回つたが、1～3月期は前年を上回りやや回復した。</li> </ul>
西駿河・ 奥大井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流客数は961万6千人、前年度比100.6%、シェアは7.0%。</li> <li>・宿泊客数は67万3千人、前年度比95.0%、シェアは3.9%。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の市で集計方法に変更があつたこと、新規調査対象の施設があつたことにより温泉は増加したが、海水浴が大きく減少した。冷夏により客足が伸び悩んでいたところに、地震による東名高速道路の通行規制が重なつたことが大きく影響した。</li> <li>・富士山静岡空港開港の好影響を受けたという施設がある一方で、まだ効果がみられないという声もあつた。</li> <li>・宿泊客数は、吉田町は大きく増加したが、減少した市町が多かつた。</li> </ul>
中東遠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流客数は1,425万5千人、前年度比92.7%、シェアは10.4%。</li> <li>・宿泊客数は88万2千人、前年度比92.6%、シェアは5.1%。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花火大会の中止、規模縮小や、大規模商業施設の集計方法の変更により、観光レクリエーション客数は100万人以上減少した。</li> <li>・宿泊客数は、御前崎市はやや増加したが他の市町は減少した。</li> </ul>
西北遠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流客数は1,761万5千人、前年度比103.9%、シェアは12.8%。</li> <li>・宿泊客数は209万人、前年度比94.6%、シェアは12.1%。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模花火大会が低調であつたが、「浜松モザイカルチャー世界博 2009」の開催により、観光レクリエーション客数全体では前年度より増加した。</li> <li>・宿泊客数は、全市町で減少したが、増加している地区もある。</li> </ul>